

町名産「^{わせじろうがき}早生次郎柿^{てきらい}」の摘蕾講習会を開催しました！ ～名産品としての知名度アップと、町の農業振興のために…～

町観光協会は、町推奨土産品として「早生次郎柿」を認定しています。この「早生次郎柿」は、大ぶりで形がよく、たっぷりとした甘みが特長で、柿栽培に適した豊岡地区（杉戸町の東部地区）にて、早生品種として生産しているものです。

そして、町は、農業振興の取組みの一つとして、今年度、市場でも高価で売買されている早生次郎柿の「3L規格」の生産を拡大すると共に、新品種の導入により販売期間を通常より延長することで、「豊岡の柿」の知名度アップと生産者の所得向上を目指しています。

そこで、豊岡地区で「早生次郎柿」を栽培する豊岡柿出荷組合が主催で、5月24日(火)、柿の摘蕾講習会を下記のとおり開催しました。

なお、摘蕾技術の向上は、果実の肥大化促進や糖度の向上に直接結び付くことから、毎年講習会を実施しており、組合員の技術向上に寄与しています。

記

■豊岡柿出荷組合摘蕾講習会について

日時 平成28年5月24日(火)

場所 組合員の藤沼 保（ふじぬまたもつ）氏の圃場

講習内容 ・摘蕾講習
・柿の病虫害防除について

講師 埼玉県春日部農林振興センター 原 部長
埼玉みずほ農業協同組合 佐藤 課長

参加人数 8名（組合員）

今後の展開 平成28年10月30日(日)に当町で開催される「杉戸宿開宿400年宿場まつり」や道の駅アグリパークゆめすぎとでの出店コラボレーションを図り、早生次郎柿の販売促進イベントを行うことで、生産のみに留まらず、加工や直売にもチャレンジしていく予定です。

■豊岡柿出荷組合について

組合員数 13名

組合長 加藤 亘 様

■その他

画像3枚

画像

■ 摘蕾講習会の様子



■ 収穫後に開催される柿の目揃え会の様子



■ 早生次郎柿 (杉戸町観光協会ホームページより)

